

令和7年度(令和8年度採用)県外教員候補者選考試験 大学推薦

令和7年度の卒業・修了予定の方が対象となります。

教員採用における大学推薦については、概ね下記の通りの手続きを行います。

【学内での推薦決定について】

①指導教員に大学推薦の希望を相談、②誓約書を作成、指導教員に提出、③指導教員の署名・押印した誓約書を学務係へ提出、④学内での選考後、大学からの推薦者を決定

【大学からの推薦決定後】

①各自自治体の要領等を確認し提出書類等の作成・準備、②所定の期日までに学務係へ必要書類を提出、③就職係等を通じて必要書類を各自自治体へ提出

※推薦決定後の提出書類について、提出期間が短い場合があります、事前に準備しておいて下さい。

※大学推薦については誓約書の内容を必ず遵守する必要があります。

募集要項や推薦書等を確認したい学生は教育学部の窓口で受け取って下さい。(要項がHP等で公表されている場合はリンク等を貼りつけています)

	募集地域	募集内容	推薦締切 ※誓約書提出 (教育窓口)	第1次試験	備考	掲載日
1	神奈川県	(1) 小学校教員区分 1名 (2) 理科、英語に優れた力量をもつ小学校教員区分 人数制限なし (3) 中学校 美術・技術・家庭教員区分 各教科1名 (4) 中学校・高等学校外国語(英語)教員区分 人数制限なし (5) 特別支援学校教員区分 1名 (6) 教職大学院区分 人数制限なし (7) 障がい者区分 人数制限なし	11月6日	大学からの推薦書、在学時の成績及び課題論文により選考する	①神奈川県「めざすべき教職員像」(資料あり)に照らし、神奈川県公立学校教員としての適性を有し、かつ教員志望の動機が明確である者 ②学業成績が優秀である者(在学時の成績において、A、Bの数が50%以上) ③(英語区分のみ)TOEIC730点以上、TOEFL-iBT80点以上又は実用英語技能検定準1級以上のいずれか1つのスコア、級の取得者	10月18日
2	浜松市	(1)小学校教員区分 (2)中学校教員区分(国語・数学・理科・美術・技術・家庭・英語) (3)発達支援推進教員区分(中学校は、国語・数学・理科・美術・技術・家庭・英語) 各大学から2名、教職大学院で2名	2月7日	第1次選考試験における「教職・一般教養試験」「教科専門試験(筆記)」「個人面接」、第2次選考の「教科専門試験(実技)」を免除		1月24日
3	鹿児島県	○小学校 2名 ○特別支援学校 小学部または中・高等部から 1名 ※特支 中・高等部の教科は(国語、社会(地理歴史・公民)、数学、理科、保健体育、音楽、美術、外国語(英語)、家庭)に指定。	4月4日	1次試験を免除	令和7年3月31日時点における取得単位のうち「C」以上の評価が50%以上の者	1月24日
4	長崎県	(1)小学校 計3名(原則、学部生2名・大学院生1名とする。) (2)中学校(社会)学部生1名 (3)中学校(理科)学部生2名 (4)中学校(美術・技術・家庭科) 制限なし (5)高等学校(工業)学部生1名	2月18日	一次試験の全てを免除 ※教科によっては二次試験の実技も免除		2月5日
5	宮崎県	(1)小学校等 2名以内 (2)中学校等(国語)1名以内 (3)中学校等(技術)1名以内 (4)高等学校等(工業)1名以内 (5)高等学校等(農業)1名以内	2月18日	1次試験を免除		2月9日
6	沖縄県	(1)小学校教諭等 (2)中学校教諭等(全教科) (3)高等学校教諭等(工業、水産) 人数制限なし ●沖縄県の大学等推薦の出願手続きについて ①3月11日(火)※厳守※までに誓約書を学務係へ提出 ②3月18日(火)以降に、推薦関係書類を学務係より受取 ③推薦関係書類と、その他提出書類を同封し、3月31日(消印有効)までに沖縄県教育委員会へ各自で郵送 ※出願の詳細については、下記沖縄県教育委員会のHPより、下記書類等について確認すること。※詳細は、下記別添資料を参照のこと ・「令和7年度実施沖縄県公立学校教員候補者選考試験(夏選考)実施要項」 ・「沖縄県公立学校教員候補者選考試験における大学等推薦 実施要項」 ・「沖縄県公立学校教員候補者選考支援 よくある質問集」	3月11日	第1次試験の一般教養及び教職教養試験を免除する		2月28日
7	大阪府	推薦の対象となる校種等・教科・教科及び推薦人数(全て大学、大学院又は教職大学院ごと) ① 小学校 各2名まで ② 小中いきいき連携 各2名まで ※②については、小学校教諭の普通免許及び令和7年2月28日に公表のR8テスト受験案内に記載する募集教科の中学校教諭の普通免許状が必要。 ③ 中学校(国語、数学、理科、音楽、美術、技術、家庭) 各教科2名まで ④ 高等学校(農業、工業(電気・工業化学・工業デザイン)、商業、家庭・福祉共通、看護) 各科目2名まで ⑤ 支援学校(幼稚部・小学部共通) 男性・女性問わず2名まで (小学部) 男性・女性問わず2名まで (中等部) 各教科2名まで ※R8テスト受験案内に記載する募集教科(保健体育を除く。)が対象。 (高等部) 各教科(科目)2名まで ※R8テスト受験案内に記載する募集教科(保健体育を除く。)が対象。	3月18日	推薦書等の内容を審査し、対象者は第1次選考の受験を免除する		3月13日
8	大阪府豊能地区	(1)大学等推薦者対象の選考 ・小学校→大学、大学院又は教職大学院につき各1名以内 ・中学校(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語)→大学、大学院又は教職大学院につき各1名以内 (2)大学等推薦者小中チャレンジ対象の選考 ・小学校→大学、大学院又は教職大学院につき各1名以内	3月18日	推薦書等の内容を総合的に審査し、第1次選考のうち筆答テストを免除する者を決定する		3月13日
9	堺市	(1)小学校 (2)特別支援学校小学部(1)、(2)あわせて3名又は5名※ (3)小学校外国語推進 1名 (4)中学校(家庭) 2名 (5)中学校(数学、理科、美術、技術)上限なし (6)特別支援学校中学部 1名 ※(2)が1名以上含まれる場合は5名となる	3月28日	一次筆答試験が免除		3月13日
10	佐賀県	(1)小学校教諭等 1名 (2)中学校教諭等(国語、理科、英語、技術、家庭)いずれか1名	4月1日	書類選考で合格と判断した者は、一般選考試験における第一次試験を免除とする。		3月13日
11	京都市	(1)小学校 教職大学院2名以内 教職大学院を除く大学等4名以内 (2)中学校(国語・数学・理科・技術・家庭・英語) 教職大学院2名以内 教職大学院を除く大学等6名以内※ ※ただし、各教科3名を上限とする。 (3)高等学校(工業・情報) 教職大学院2名以内 教職大学院を除く大学等1名以内 (4)総合支援学校 教職大学院2名以内 教職大学院を除く大学等4名以内	4月1日	提出書類を審査し、第1次試験免除者を決定する		3月13日